

令和6年度全国学力学習状況調査結果の分析と今後の取組

東広島市立高美が丘中学校
R6.10.10

1 結果

教科	国語						
	全体	知識及び技能			思考力・判断力・表現力等		
		言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
全国（公立）	58.1	59.2	59.6	75.6	58.8	65.3	47.9
広島県（公立）	58	58.0	59.2	77.8	59.4	66.1	47.5
本校	62	66.1	64.5	81.8	63.6	66.4	48.2
市平均	61	60.6	61.4	84.3	61.1	69.6	51.7

教科	数学				
	全体	数と式	図形	関数	データの活用
全国（公立）	52.5	51.1	40.3	60.7	55.5
広島県（公立）	52	49.4	39.3	60.1	55.0
本校	57	53.1	47.3	66.8	60.0
市平均	55	53.7	41.9	64.3	58.5

2 国語

（1） 正答率が低かったもの

1 一 必要に応じて質問しながら話の内容をとらえることができるか。（思考・判断・表現）

58.2% （県 61.3% 全国 63.2%）

2 四 目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるか。（思考・判断・表現）

38.2% （県 42.4% 全国 42.6%）

（2） 分析

①「知識及び技能」において全国・県・市と比べても比較的高い数値であった。しかし、話し合いの発言について説明したものとして適切なものを選択する力がやや低い傾向が見て取れた。

②「思考・判断・表現」においても概ね平均は超えているが読むことの力が50%未満と十分でない。特に、内容の解釈や重要な部分に注目して読み取る問題の正答率が低い。

（3） 今後の取組

①短い文章演習を毎授業に取り入れ、情報の関係性に気付く力や情報を整理し考える力を培う。

②文章の読み取りでは、帯学習を中心に問題演習を取り入れ、話の中心や骨組みをつかむ力を養うと共に、接続語や指示語に注目し、情報を整理しながら読みを深める学習を行っていく。

3 数学

(1) 正答率が低かった問題

9 (1) 筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる。

本校 27.3% (県 25.0% 全国 25.8%)

7 (2) 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。

本校 30.9% (県 24.8% 全国 25.9%)

8 (2) 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。

本校 30.9% (県 17.4% 全国 17.1%)

(2) 分析

①筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる問題の正答率が低い。証明問題に限らず、どの単元においても、与えられている条件に基づいて順序だてて考えていく力をつけることが必要である。

②複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかを問う問題の正答率が低い。データの分布の傾向を読み取って判断し、その理由を箱ひげ図の箱の位置や四分位数などを用いて的確に説明できるようにすることが大切である。

(3) 今後の取組

①どの単元においても、単に答えを求めるだけでなく、途中の考え方や立式を大切にするように指導するとともに、つねに根拠を明らかにしながら筋道立てて考えるように、指導していく。

②複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉える際に、判断の理由を、生徒が数学的根拠を明らかにして説明できるように、取り組んでいく。また、説明の仕方や方法について、国語科とも連携しながら取り組んでいく。

5 生徒質問紙調査結果 (肯定的評価の割合)・・・本校(全国平均)

【規範意識・自己有用感等】

	項目	本校	全国平均	差
1	自分には、よいところがあると思いますか	90.9%	83.3%	+7.6%
2	将来の夢や目標を持っていますか	56.3%	66.3%	-10.0%
3	人が困っているときは、進んで助けていますか	96.4%	90.1%	+6.3%
4	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	98.1%	95.7%	+2.4%
5	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.4%	95.2%	+1.2%

【学習習慣等】

	項目	本校	全国平均	差
1	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか			
	3時間以上	9.1%	9.2%	-0.1%
	2時間以上、3時間より少ない	36.4%	22.5%	+13.9%
	1時間以上、2時間より少ない	34.5%	32.6%	+1.9%
	30分以上、1時間より少ない	9.1%	18.4%	-9.3%
	30分より少ない	9.1%	10.4%	-1.3%
	全くしない	1.8%	6.6%	-4.8%
2	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	87.3%	77.9%	+9.4%

【基本的生活習慣等】

	項目	本校	全国平均	差
1	朝食を毎日食べていますか	94.6%	91.3%	+3.3%
2	毎日、同じぐらいの時刻に寝ていますか	83.7%	80.7%	+3.0%
3	毎日、同じぐらいの時刻に起きていますか	92.7%	92.5%	+0.2%

【地域や社会に関わる活動の実施状況】

	項目	本校	全国平均	差
1	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	89.1%	76.1%	+13.0%

《分析と考察》

○規範意識・自己有用感等については、ほとんどの項目において、肯定的評価が全国平均を上回っている。これまでの授業、学校行事、生活体験により、自分を高められるよう目標をもって頑張る態度が育まれてきたことが、数値の高まりにつながったと考えられる。その反面、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」という項目で、肯定的評価が100%にならなかった。「いじめは絶対に許さない。」という意識が全員のものになっておらず、粘り強く指導を続け、思いやりや生命の尊重の態度を育てていきたい。

○ 学習時間について。

全国平均を上回ったもの・・・「1時間以上2時間より少ない」「2時間以上3時間より少ない」

全国平均と同じぐらいのもの・・・「3時間以上」

全国平均を下回ったもの・・・「全くしない」「30分より少ない」「30分以上1時間より少ない」

1時間以上の割合の合計は、本校 80.0%、全国平均 64.3%

1時間未満～全くしないの割合の合計は、本校 20.0%、全国平均 35.7%

1時間以上の割合の合計が全国平均を大きく上回っており、3年生として受験を意識して学習時間を増やしていこうとする意識の高さがうかがえる。

○基本的生活習慣に関しては、起床時間、朝食の摂取、就寝時間のいずれにおいても全国平均を上回っており、基本的な生活習慣は身に付きつつあると考えられる。

○肯定的評価の割合だけにとらわれず、否定的な評価をしている生徒に対して、学校と家庭、地域が協力して支援を進めていく必要がある。

《家庭へのお願い》

①4月の調査段階では、基本的生活習慣・学習習慣ともにおおむね良好と考えられます。現在は、進路に向けての動きが進み、部活動を引退した生徒も多くなり、状況が変化しているのではないかと考えられます。今後は体調管理や時間の管理が重要となります。ご家庭のご協力のもと、起床時間・就寝時間・学習時間の固定を図り、朝は朝食を摂った上で余裕を持って登校するようにさせてください。

②学習については、今後の進路決定に向けて計画的に進めることが必要となってきます。自分の進路選択に合わせ、日々の授業を大切にすることはもちろんのこと、これまでの振り返りやまとめの学習、さらには、発展的な学習を進めることが求められます。ご協力ください。

③進路の選択や決定に向けて、精神的に不安定な時期となってきます。ご家庭において、互いの思いをしっかりと出し合い、今後の三者懇談に向けてご準備ください。場合によっては相談をしていただければ幸いです。